

2005年12月19日

株式会社 富士経済

〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町

2-5 F・Kビル

TEL.03-3664-5811 FAX.03-3661-0165

URL : <http://www.group.fuji-keizai.co.jp/>

広報部 03-3664-5697

0120-156-711

リモート監視関連市場の調査を実施

2007年予測(04年比)家庭向けが27%伸びて615億円、ビル向けも5%伸びて1,183億円の市場へ
ユニット部品では、ウェブカメラが42%の高い伸びを遂げ74億円市場へ

総合マーケティングビジネスの(株)富士経済(東京都中央区日本橋小伝馬町 代表取締役 阿部英雄 03-3664-5811)は、今年8月から11月にかけて、有線・無線の多様な通信インフラの進化を活かして企業合理化、ホームセキュリティなどのツールとして一層注目されるリモート監視市場について調査した。

その結果を報告書「2005リモート監視関連市場徹底総調査」にまとめた。

<調査結果の概要>

リモート監視市場規模推移 (単位 億円)

	2004年	03年比	2007年予測	07/04年比
全体市場	3,136	101.9%	3,424	109.2%
サービス市場	1,708	104.2%	1,927	112.8%
(1)ビル向け	1,125	101.3%	1,183	105.2%
(2)家庭向け	484	110.8%	615	127.1%
(3)産業向け	50	111.1%	70	140.0%
(4)商業向け	39	105.4%	46	117.9%
(5)その他	10	120.0%	13	130.0%
ハード・ソフト市場	1,428	99.2%	1,497	104.8%

リモート監視関連市場全体 04年3,136億円 07年予測3,424億円(04年比109.2%)

リモート監視関連市場を、サービス市場と、ハード・ソフト市場の両面から調査した。

サービス市場は、いち早くリモート監視が普及したビル向けが市場を牽引してきたが、今後は、ホームセキュリティを中心とする家庭向けのリモート監視の市場の大きな伸びが期待される。さらに工場やプラントなどの産業向けや自動販売機やパーキングなど商業向けも徐々に実績を拡大しており、全体として右肩上がりの成長を遂げている。

リモート監視サービスを支えるハード・ソフト市場では、データ系リモート監視のテレメータユニット、マイコンガスメータが大きな市場を形成しており、全体を底上げしている。通信モジュールは、2007年521億円と04年比で10%程度の堅調な拡大を予測する。全体的にワイヤレス化のニーズが高まっており、携帯電話(DoPa 網など)を活用したシステムがさらに浸透していく見込みである。また、産業用でも民生用でも利用が見込まれているZigbee(近距離世界標準通信方式) 端末など新しい技術を利用した商品の市場投入も近づいており、これらワイヤレスモジュールがリモート監視市場の拡大に大きく拍車をかける可能性もある。

1. リモート監視サービス市場 04年1,708億円 07年予測1,927億円(04年比112.8%)

ビル向け、産業向け、家庭向け、商業向け、その他の5分野を調査した。

最も市場規模の大きいビル向けは、2004年には1,125億円に達しており、エレベータ監視や受電設備向けで採用実績が多い市場である。ビル着工件数の減少といった不安要因もあるが、堅調なりニューアル需要に期待がもて、今後も安定した成長が見込まれる。

家庭向けサービスは、現在500億円に迫る市場である。今後も防犯・防災関連の需要拡大が期待されるのに加え、2007年以降は、白物家電をリモート制御するマーケットも期待が持て、また潜在需要が圧倒的に大きいので、順調に拡大すると見込まれる。

産業向けは、規模は小さいものの工場・プラントの監視ニーズが強く高い成長が期待される。04年比40%近い伸びにより、2007年には70億円程度に市場は拡大すると予測する。

(1) ビル向けサービス 04年1,125億円 07年予測1,183億円(対04年比105.2%)

受電設備向け、ビル内設備(エレベータ・空調システムなど)向け、コージェネシステム向けを調査した。最も規模が大きい受電設備向けは2004年で871億円。従来、電気保安協会が独占提供してきたサービスであるが、近年の規制緩和により民間企業の参入も相次ぎ、競合が激化している。

漏電や停電監視などの基本的メニューに加え、デマンド監視や設備保証サービスなどサービスの多様化と低価格化によって、如何に魅力あるサービスを提供するかが実績拡大の鍵となる。

ビル内設備は2004年で237億円程度となり、現状はエレベータ管理サービスが中心となっている。今後は省エネニーズが高まり、空調システム/電力モニタリングなどのリモート監視が注目される。

(2) 家庭向けサービス 04年484億円 07年予測615億円(04年比127.1%)

家庭用リモート監視、健康管理リモート監視、LPGリモート監視、都市ガスリモート監視を調査した。更に家庭用リモート監視サービスについては、防災・防犯、家電制御、安心システムに注目して分析した。

家庭向けの防犯・防災のリモート監視サービスはまだ普及率が低いものの、ニーズは急速に高まっており、市場は拡大傾向にある。警備会社などのサービス業者が提供するセキュリティからアプローチするシステムと、専用機を使用して自主警備を行うシステムに加え、家電制御の延長としてセキュリティサービスを提供するシステムも登場している。また最近では、携帯電話と連動したシステムも相次いで商品化され、ユーザーの利便性を高めている。中でも、携帯電話でウェブカメラを利用して屋内の様子を映像監視できるシステムは今後ニーズが高まると考えられる。

LPGガス、都市ガスのインフラ系リモート監視サービスもDoPa網やFOMAなどのパケットサービスを利用したモバイル回線によるリモート化が目立って来た。

防災・防犯 これまでセコムに代表される警備会社の領域であった。近年電力・ガス・通信系などのインフラ系企業が注力し実績をあげている。インフラ系企業は警備体制を持たないため警備会社との業務提携をして対応している。また警備サービスがなく購入者が自ら異常を検知する自己解決型システムも商品化されている。

安心システム系(緊急通報サービス、弱者保護サービス) 弱者保護サービスは徘徊老人や児童、女性など社会的弱者をPHSやGPSなどの位置検索技術で確認するものである。最近では幼児や児童などを狙った犯罪が多発していることを背景に需要が急速に拡大しており、緊急通報サービスとの連携も進んでいる。

家電制御 白物家電のリモート制御を目的としたサービスは、大手家電メーカーからリモート制御商品が発売されているが、市場は起ち上がったばかりである。ネットワークの共通仕様策定に加え、機器制御のみならず、ホームセキュリティや健康支援、弱者保護、さらには暮らし情報の提供などいかにユーザーに魅力的なサービスを提供するかが、本格的な市場形成上の課題となっている。

(3) 産業向けサービス 04年50億円 07年予測70億円(対04年比140.0%)

工場・プラント、環境プラント・設備、物流拠点について調査した。工場・プラントでのリモート監視は、現在ユーザー側による監視がメインで、第三者的サービスの利用率は1%にも満たないが、メンテナンスの延長にとどまらず生産効率の向上など付加価値化を進めれば、市場は大きく伸びる可能性がある。

環境プラント・設備向けは、地方自治体などが運営する施設(焼却施設、粗大ごみ処理、水処理、上下水道施設など)を遠隔監視・制御する総合的なメンテナンスサービスを提供する。2004年時点では、リモート監視の普及は全国約2万件の施設の6%程度であると推定される。各自治体は業務の効率化を図るべくリモート監視サービスの委託を視野に入れ始めている。

物流拠点向けは物流機器メーカーがメンテナンスの延長上でリモート監視サービスを展開しているケースが多い。このリモート監視は、2004年時点で20%程度の普及率を見られ、産業向けサービスの中では比較的普及が進んでいると推定される。

(4) 商業向けサービス 04年39億円 07年予測46億円(対04年比117.9%)

自動販売機、駐車場、ショーケースの3分野を調査した。機器の故障は直接売り上げに影響を与えるため、故障管理は必須である。無人であることからセキュリティの向上が急がれ、カメラなどによる状況監視も重要となって来ている。

自動販売機は、最近ハンディターミナルによるデータ収集が見られ始め、リモート監視の必要性も危ぶまれている。将来的には、年齢確認用監視カメラ、インターフォンなどによる映像監視や携帯電話を利用したカード決済などさらなるサービスの普及も期待され、これらが本格化すればリモート監視の普及への追い風となる。現在コインパーキングは約50%のリモートサービス普及と推定される。不正駐車による収益悪化が問題となっており、カメラ監視の需要が高まっている。

2. ハード・ソフト市場 04年1,428億円 07年予測1,497億円(04年比104.8%)

データ系ユニット、映像系ユニット、通信モジュール、汎用システム/ソフト市場を分析した。データ系ユニット市場は、もっとも普及しているマイコンガスメータが、LPガス向けの需要縮小の影響により低調な推移をたどっている。リモート監視ニーズの高まりとともにユーザー主体の監視も進んでおり、汎用システム/ソフト市場も拡大している。また、ブロードバンドの普及や、商品・回線の低価格化を背景に、映像系のリモート監視ユニット市場が大きく伸びている。

(1) 通信モジュール 04年467億円 07年予測521億円(04年比111.6%)

GPSモジュールと無線LANが金額ベースで約80%を占めており、この2システムは2007年396億円と04年比10%の成長を予測する。無線LANは民生用が大半を占め、ブロードバンドの普及に伴い、市場の拡大が続く。GPSはカーナビ、携帯電話など広く測位センサーとして利用されており、人や車のロケーション管理でセキュリティニーズの高まりとともに採用が広がっている。

(2) 映像系ユニット 04年117億円 07年予測148億円(04年比126.5%)

リモート監視市場全体から見ればまだ小さいものの、通信インフラの進化とともに画像伝送ニーズが顕在化しつつあり大きな成長が期待される。ウェブカメラが2004年は前年比42%増と好調に伸びており、今後中心的な存在となる。

ウェブカメラ 04年52億円 07年74億円予測(04年比142.3%)

最近、店舗やビルへのセキュリティへの応用も始まり急成長を遂げている。治安の悪化やブロードバンド環境の整備、商品の低価格化が進んでおり今後も成長が期待できる。今後ホームユースが進めばこの予測を大きく上回る可能性を秘めている。また引き続き小学生、幼児など弱者対象の犯罪を防止すべく、タウンセキュリティ、スクールセキュリティ面から映像監視への期待が集まる。2001年に松下ブルー2社が新規参入して実績を伸ばし、現在2社で60%(04年数量ベース)になっている。ソニーも、国内販売で苦戦したが製品ラインアップと販路を見直しして実績を伸ばして来た。

<調査方法>

弊社専門調査員の対象企業および関連企業・団体への面接取材、および各種公的データ、刊行資料を参考に分析。

<調査対象市場> サービス、ソフト・ハード応用機器などの関係企業約80社に取材。

<調査項目> 34分野

ビル向けリモート監視 1.ビル内設備サービス 2.受電設備サービス 3.コージェネシステムサービス
産業向けリモート監視 4.産業向け監視サービス 5.環境プラント/設備監視サービス 6.物流拠点監視サービス
家庭向けリモート監視 7.家庭用サービス 8.健康管理サービス 9.LPガスサービス 10.都市ガスサービス
商業向けリモート監視 11.自動販売機サービス 12.駐車場サービス 13.ショーケースサービス
その他リモート監視 14.貯蔵タンク監視サービス 15.工事現場監視サービス 16.車両運行監視サービス
データ系リモート監視ユニット 17.マイコンガスメータ 18.電子式水道メータ 19.遠隔制御系ホームサーバ
20.ホームセキュリティユニット 21.パケット通信プロトコル変換器 22.電力通信ゲートウェイ 23.テレメータユニット 24.自動通報装置 25.バイタルデータ収集端末
通信モジュール 26.Zigbee 端末 27.無線LAN 端末 28.NCU 29.テレメタリング専用データ通信モジュール 30.GPS モジュール
汎用システム・ソフト 31.汎用システム/PLC 用リモートユニット
映像系リモート監視ユニット 32.ウェブカメラ 33.カメラサーバ 34.画像伝送装置

以上

タイトル :「2005リモート監視関連市場徹底総調査」

体 裁 : A4判 260頁

価 格 : 97,000円(税込み101,850円)

調査・編集 : 富士経済 大阪マーケティング本部 第一事業部

TEL 06-6228-2020(代) FAX 06-6228-2030

発行所 : 株式会社 富士経済

〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町2-5 F・Kビル

TEL 03-3664-5821(代) FAX 03-3661-9514

e-mail:koho@fuji-keizai.co.jp

この情報はホームページでもご覧いただけます。URL : <http://www.group.fuji-keizai.co.jp>